

島根県 プロフェッショナル出前授業 授業案（特別支援学校編）

学校名： 島根県立石見養護学校

授業者：弁護士 遠藤 郁哉

授業日時：2022年12月21日(13:20 ～ 14:50)

授業者：弁護士 本家 泉衣

学校担当者：恩田智恵教諭

島根県担当者：消費者教育コーディネーター 遠藤紀子

（１）ねらい

大人になると色々できるようになるが、情報を鵜呑みにすることなく、よく考えて行動する必要があることに気づき、困ったことがあったら相談する習慣を身につける。

（２）展開

時間	学習活動	支援等
10 導入	・講師自己紹介 ・弁護士の仕事紹介 ・本時の学習課題の確認する。	・本時の課題を知らせ、授業の流れを確認する。
20	・18歳成年年齢引下げについて知ろう（○×クイズで確認しよう）	・挙手を促しながら進める。 ・間違えてもよい雰囲気になるように教員も挙手をする。
40 活動	【勧誘編】 ・投資詐欺について考えてみよう。（ロールプレイを見ながら、良かったところ、アドバイス、改善点を考えてみよう） ・上手く断るにはどうしたらいいか話し合う。 【買い物編】 ・電気屋でタブレット・スマホを買う体験をしてみよう。 予算5万円 ☆商品 ①1万円 （中古・一応は動く・保証なし） ②3万円（2年くらいで壊れるというネットのウワサ、保証なし）	■評価方法 主体的に学習に取り組む態度・ワークシート ・ロールプレイを弁護士と担任とでリアルに行い、イメージを持たせてから生徒に体験してもらう。 ・役割の名札を用意する。 ・断ることが出来た時点で終了の合図をする。 ・断る言葉・態度などを確認させる。 ■評価方法 行動観察、ワークシート ・特色が分かりやすいように4パターンの商品を丁寧に説明する。 ・現物（スマホ・タブレット）を用意する。 ・4パターンの表示を用意する。

	③ 5 万円 (標準仕様・1年間保証あり) ④ 7 万円 (15万円の高機能商品が今日だけ半額以下・1年間保証あり) ☆支払方法 ①現金一括 ②クレジット一括 ③ローン3回払い ④リボ払い月3000円 ・どのような選び方が良いか話し合う。	・何故その商品を選んだのか、また、支払いの選択肢について、自分の考えをまとめるように伝える。 ■評価方法 主体的に学習に取り組む態度・ワークシート ・3ヶ月後の状況、支払わなければならない総額を確認させ、支払い方によって期間や支払総額が違うことを伝える。 ・アドバイスしたり、意見を聞いたりして、商品の選び方を考えるように伝える。 ■評価方法 行動観察・ワークシート
10 ま と め	・聞いたことや話合ったことを踏まえてこれからの行動で必要なことと、授業の振り返りを回答する。 ・自己評価をする。	・困った時の相談先を伝える。

【授業後の生徒の感想】

- ・あやしい話がきたら、最初に断ること、何か困ることがあったら身近な人に相談することの大切さを学びました。
- ・都合のよい話にならないようにする、また、都合のよい話は最初に断るようにしたいです。
- ・立ち止まる力、断る力、相談する力が大事だと分かりました。
- ・お金の管理は大変だと思いました。お金を大切にして行きたいと思いました。

【授業後の担当の先生の感想】

- ・普段ロールプレイを苦手とする生徒が、前に出て積極的にやりとりしていました。担任の先生が詐欺にあう寸劇をみたことで、取り組みやすくなったと感じます。体験的に学べて、生徒が自分から気づく姿が印象的な授業でした。

